

憲法九条改悪阻止！戦争と民営化 労組破壊攻撃にたち向かう 九・二三労働者集会への賛同と参加のお願い

呼びかけ 国鉄千葉動力車労働組合
主 催 九・二三集会実行委員会

全国のたたかう労働者のみなさん！

憲法改悪がついに政治日程にのぼろうとしています。「陸海空軍その他戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と定めた9条2項が破棄され、「自衛軍を保持する」に書き替えられようとしています。現行憲法のコアが打ち砕かれようとしています。

日本を全世界への戦争の戦略拠点とする日米安保の飛躍的強化がおし進められ、北朝鮮のミサイル発射を口実として恐るべき排外主義が煽りたてられています。ブッシュや小泉は、泥沼化するイラク侵略戦争の危機に突き動かされ、戦争を世界に拡大しようとしています。改憲 戦争への道を止めるために、今こそ闘いに立ち上がらなければなりません。

小泉政権は、今春の通常国会に、教育基本法改悪法案、改憲国民投票法案、共謀罪新設、防衛庁の防衛省への昇格法案を提出しました。いずれもこれまでの社会の在り方を根本から覆す、改憲に直接つながる歴史的な反動法案です。三分の二議席を大きく超える数の力を頼りに強行採決し、一挙に改憲に突き進むとしたのです。しかし、改憲・戦争と生存権否定への危機感が充満し、我慢のならない怒りの声がいつ噴出するかもしれない状況を恐れ、いずれも採決することができませんでした。闘いは秋の臨時国会にもちこされました。秋に向け、全力を尽くして再び闘いを組織しなければなりません。

一方、行革推進関連法や、医療制度改悪法の制定が強行され、8時間労働制や労働者の団結権を解体する労働契約法の制定が画策されています。社会をおおい尽くすような民営化 労組破壊攻撃、社会保障制度の解体攻撃が吹き荒れ、労働者の生きる権利が奪われようとしています。

中曽根元首相が、国鉄分割・民営化について、「国労を潰し、総評・社会党を崩壊させて、立派な憲法を安置するためにやった」と繰り返し発言し、今また森前首相が「郵政民営化で全通、自治労、日教組をつぶす」と公言しているとおり、民営化 労組破壊と憲法改悪は一体の攻撃です。差し迫る憲法改悪攻撃との闘いの焦点は、労働組合をめぐる攻防です。この過程で、連合は変質を深め、改憲容認勢力に転落しようとしています。全労連も、今何よりも求められている労働者の共同行動を分断する役割を果たしています。しかし、そうした制動を打ち破って現場からの怒りの声が高鳴りはじめています。

「日の丸・君が代」の強制を拒否する教育労働者の闘い、日本の労働運動と労働者の未来をかけて闘われている国鉄1047名の解雇撤回闘争、本部の屈服に抗して立ち上がろうとしている全通や自治労の仲間たちの現場からの怒りの声の噴出、日米安保の再編に対する沖繩の闘い、岩国や座間での住民投票の勝利など、これまでの枠を突き破る新たな闘いが始まっています。

動労千葉は、尼崎事故をはじめ、民営化の矛盾が「安全の崩壊」となって噴出するJRの現状に対し、JRの卑劣な処分攻撃と対決し、反合理化・運転保安確立の闘いに立ち上がっています。闘いは、全国に、そして国境をこえて大きな波紋を広げています。闘わなければ生きることができない情勢のなかで、無数の労働者の怒りの声が地鳴りのように響きはじめ、闘う労働組合を求めているのです。

全世界で闘いが燃え上がっています。フランスの労働者・学生は、300万のデモとゼネストで初期雇用契約法を撤回させました。韓国の労働者は幾度もゼネストで非正規職関連法の制定を阻止しています。アメリカでもストライキが激発し、一千万の移民労働者が立ち上がっています。

今こそ、改憲 戦争と、民営化・労組破壊に抗し、職場から闘いを巻き起こそう。現場からの闘いで労働運動の再生を実現しよう。

私たちは、この秋の臨時国会をめぐる闘いを日本の労働者の未来をかけた闘いと位置づけ、左記の集会を呼びかけます。そしてこの闘いを突破口として、11月労働者集会への1万人結集実現に向けて全力で闘いぬく決意です。つきましては、表記集会への多くの皆さんの賛同と参加を心よりお願い申し上げます。

憲法九条改悪阻止！戦争と民営化 労組破壊攻撃にたち向かう 九・二三労働者集会

日時 九月二三日(土) 十三時開場・十三時三〇分開始
場所 文京区民センター

第一回実行委員会

日時 八月十一日 十八時三〇分
場所 江東区亀戸文化センター
江東区亀戸二の十九の一 JR亀戸駅下車三分